

2016年11月吉日

報道関係各位

第14回 JCF 学生映画祭実行委員会
実行委員長 高 秀蘭



第14回 JCF 学生映画祭の2つのコンペティション部門

<学生映画アワード（長編部門）> <WAO 10 MINUTES AWARD（短編部門）>

グランプリが決定！

拝啓 時下益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は当映画祭に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

JCF学生映画祭は、<次代を担う映画監督の発掘と育成！>をテーマに、第1回JCF学生映画祭を開催して以来、「学生映画の甲子園」として多くの才能を輩出して参りました。

本年は、JCF学生映画祭として初めて関西で開催いたしております。

コンペティションプログラム2部門<WAO 10 MINUTES MOVIE AWARD（短編部門）><学生映画アワード（長編部門）>には、全国から多数応募を頂き、審査の結果、本日各部門のグランプリが決定いたしましたので、お知らせ致します。

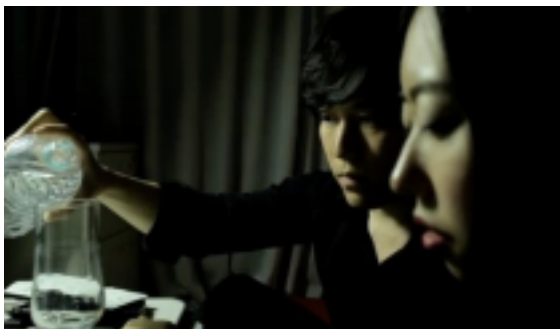
各受賞の学生監督の皆様、おめでとうございます。また、ご応募頂いた学生監督の皆様には、深くお礼申し上げます。

JCF学生映画祭では、コンペティション各部門のグランプリ受賞者を第一候補として、スカラシップ制度での新作制作支援等が予定されており、本映画祭のキャッチフレーズの<夢はここからはじまる>に相応しく、本学生映画祭を通じて関西から、日本の将来を担う若手クリエイターの発掘・育成を目指してまいります。

敬具

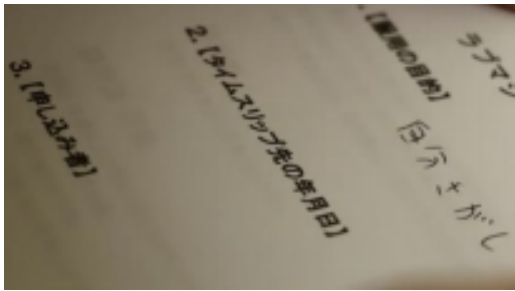
<学生映画 アワード（長編部門）>

■ グランプリ 鳥取大学大学院 天野 友二郎 <灰色の青春>



【作品概要】過酷な青春時代を送る二人。肉体的にも精神的にも追い詰められる。彼氏がある計画を思いつくが、彼女にもある秘密があった。

- 準グランプリ 龍谷大学 土井 笑生 <WILL>



【作品概要】自在に年月を行き来出来る日本が舞台。1995年、2000年、2015年の登場人物が複雑に絡み合う。

<WAO 10 MINUTES MOVIE AWARD (短編部門)>

- グランプリ 慶應義塾大学 小林令奈 <君となりのボクへ>



【作品概要】ゴミ山に苦しめられるパヤタスの子供たち。貧困によって教育を十分に受けることができない子供たち。撮影したファインダー越しに映る世界を見せるドキュメンタリー。

- 準グランプリ 立命館大学 長尾淳史 <マインドギア>



【作品概要】大学生・宗太郎と夢を司る「漠」が記憶という非現実の世界を巡る世界。

- 審査員特別賞 同志社大学 榎本 博和 <記念日の贈り物/一期一会>



【作品概要】

ストーリー：「記念日の贈り物」愛し合う 2 人、夫は妻に首飾りをプレゼントすることに決めた。

ストーリー：「一期一会」大都会でひよんなきっかけから生まれる出会い。

■ 審査員特別賞 早稲田大学 小池 茅 <心に穴が空いちゃって>



【作品概要】ある日、気になったので覗いてみたら、やっぱり穴が空いていた。心に穴が空いていた。穴男とヤングトリオの交流を描いた暗黒舞踏系ダンスムービー。

■ 審査員特別賞 日本大学 平井 諒 <いい湯だな>



【作品概要】他国からの侵攻が始まり、国が崩壊した日本。主人公のタケルはその数年前、大学生で留学生のリンと銭湯に行った。

< JCFスカラシップについて >

JCF学生映画祭では、次代を担う学生映画監督に、作品の発表と研鑽の場を提供し、スカラシップ制度での新作制作支援等により、若き才能の育成を行ってまいりました。JCFスカラシップは、優秀な学生の自主映画監督を資金・技術・設備の面でバックアップし、に新作を製作する機会を与える制度です。第3回から発足し、今年はノミネート監督を対象としています。

■ 「第14回 JCF 学生映画祭」スカラシップ

㈱エルムスユナイテッド動物病院グループの支援により、スカラシップ受賞者が絶滅危惧種の1つである「アマミノクロウサギ」保護ムービーを制作します。スカラシップ受賞者は、短編・長編のグランプリ監督を第1候補に、全入賞監督の中から、イベント当日に決定します。

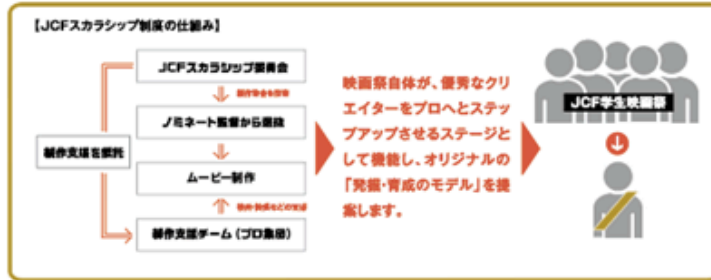
映画祭自体が、優秀なクリエイターをプロへとステップアップさせるステージとして機能します。

今年のスカラシップ
 エルムス ユナイテッド 動物病院グループ
 ELMS United Animal Hospital Group presents

アマミノクロウサギ保護ムービー制作

スカラシップパートナーである(株)エルムスユナイテッド動物病院グループのバックアップで、絶滅危惧種の保護に寄与する映像をスカラシップ対象者が制作。

テーマは、「アマミノクロウサギ」!!



アマミノクロウサギとは
 奄美大島と徳之島にのみ生息する1属1種の日本固有種。現在生息しているウサギ科のなかでも原始的な体型をしており、「生きた化石」と言われる。

〜今年のスカラシップについて〜

第14回 JCF学生映画祭
 短編 / 長編のグランプリ監督を第一候補として
 入賞監督全員の中からスカラシップ対象者を選定!

スカラシップ対象監督が
 プロとともにムービー制作!!

アマミノクロウサギ保護ムービー

【ワオ・コーポレーション presents 第14回 JCF 学生映画祭】開催概要

名称	ワオ・コーポレーション presents 第14回 JCF 学生映画祭
開催目的	日本だけではなく、アジアの将来を担う若手クリエイターの発掘・育成を目指すポリシーをそのままに、第14回を迎える JCF 学生映画祭を開催し、映像のチカラで日本を元気に活性化させることを目指します。
開催日	2016年11月25日(金)、26日(土)
場所	25日 京都西陣 IT 路地 (京都府京都市) 26日 心齋橋 SUNHALL (大阪府大阪市)
主催	JCF 学生映画祭実行委員会
実行委員	特別顧問 / 西澤昭男 (株式会社ワオ・コーポレーション代表取締役) 顧問 / 溝畑宏 (大阪観光局理事長) 実行委員長 / 高 秀蘭 (映画プロデューサー) 実行委員 / 大和田 廣樹 (映画プロデューサー) 実行委員 / 磯久 五郎 (5L エンタテインメント株式会社代表取締役) 実行委員 / 太田 雅人 (ゲッティグループ代表)
制作運営	JCF 学生映画祭運営事務局
特別協賛	株式会社ワオ・コーポレーション
スカラシップ	株式会社エルムスユナイテッド動物病院グループ
パートナー	
後援	公益財団法人大阪観光局 / 株式会社 ABC ライツビジネス / CAMPUSNAVI.COM
協力	NEW WAVE / DREAM KID / GX ASIA
行事内容	◎国内コンペティションプログラム 長編 学生映画アワード 部門 <WAO 10 MINUTES MOVIE AWARD> 短編 学生映画アワード部門 ◎表彰式プログラム ◎特別プログラム

日韓国際学生映画上映会

◎シネマフォーラムプログラム

◎レセプションパーティ（26日表彰式終了後）

入場料 無料（入退場自由）

【「JCF 学生映画祭」これまでの歩み】

ゆうばり国際ファンタスティック映画祭をご存じでしょうか。JCF 学生映画祭は、1989年当時の竹下内閣の〈ふるさと創生資金〉の1億円を活用し、地域振興という目的の為に夕張市が主催・開催した、この映画祭の特別協賛企画を起源にもちます（現在の同名の映画祭がありますが、主催形態が違います）。

1999年、〈学生の映画の甲子園〉を合言葉に、949団体のクラブ・同好会・サークルが所属する日本サークル連盟（Japan club・circle federation）が主催し、〈ゆうばり国際ファンタスティック映画祭 特別協賛企画 第一回 JCF 学生映画祭〉が催されました。

1回目から3回目が夕張市にて開催、4回目は沖縄県那覇市との共催でアジア部門も拡充し、受賞監督に新作映画を製作支援するオキナワコンテンツラボを実施しました。

5回目は初の東京開催。場所は、大江戸温泉内での昼の上で映画祭としては世界初。ちなみに、2010年のLVMH（ルイヴィトン）映画祭で短編部門のグランプリを受賞した月川 翔 君（受賞当時は成蹊大学在学）は、この回のグランプリ受賞者です。

第6回は愛知万博の公式プログラムとして、EXPOHALLで開催。世界各国の学生作品を集め世界のレベルのすごさを披露致しました。第7回以降は、運営を完全に学生だけ行う形のフレームに移行（東京・上野の東京国立博物館で開催）。その後、夕張市の財政破綻の報を聞き、“生まれ故郷”といえる夕張の地に恩返しをしようということで、夕張国際学生映画祭2007年と2008年は夕張の地で開催しました。その後、サブカルチャーによって地域の発展・活性化を目指している鳥取県で3年にわたって開催。また、山形国際ムービーフェスティバル2014と連携し、東北でも開催しています。

今回は初の関西開催。京都と大阪の地に会場を設けました。さらに、自ら映画製作にも取り組み、エンターテインメントとエデュケーション（教育）の融合を目指している、株式会社ワオ・コーポレーション様に協賛いただいたことを記念して、従来の学生映画部門に加えて、そしてショートムービー部門も設けました。11月の映画祭当日には、国内外（海外作品は招待）の優れた学生作品をご覧いただくことができます。

■本件に関するお問い合わせ先

〒107-0062 東京都港区南青山2丁目22番14号 フォンテ青山9階

第14回 JCF 学生映画祭運営事務局

TEL. 03-5775-0666 / FAX. 03-3582-0680